

ライフ・イズ・ビューティフル

観賞日 2022年12月12日 上映時間 117分

【概要】

制作 1997年 イタリア

監督・脚本 ロベルト・ベニーニ

音楽 ニコラ・ピオヴァーニ

撮影 トニーノ・デリ・コリ

出演 ロベルト・ベニーニ（ガイド・オレフィチェ）

ニコレッタ・ブラスキ（ドーラ）、ジョルジュ・カンタリーニ（ジョズエ・オレフィチェ）

ホルスト・ブッフホルツ（レッシング医師）



【あらすじ】

1939年、イタリア北部トスカーナ州アレッツォ。ガイドは叔父を訪ねてやって来る。道すがら小学校の教員、ドーラに会い恋に落ちる。ドーラには気に入らないフィアンセがいたがガイドはドーラを略奪する。時は経過し、ガイドとドーラとの間に長男ジョズエが誕生、二人は幸せな生活を送る。大戦も末期のある日、ガイドとジョズエは突然ドイツ軍に連行され強制収容所に送り込まれる。ユダヤ人でないドーラも二人を心配して後を追う。事態がわからず不安なジョズエにガイドは「これはゲームであり、1000点を取ってゲームに勝てば、終了後に戦車に乗って家に帰れる」という嘘をつく。息子の身を護ろうと懸命に嘘をつきとおす父親ガイドと父親の言いつけを守ろうとする息子ジョズエ。やがて、戦争が終わりドイツ軍は収容所から夜の闇に紛れて撤退する。ドーラの身を案じ探し求めるガイドは運悪くドイツ兵に捕まり……。朝になりドイツ軍が去った収容所。父親の言いつけを守りゲームに勝ったジョズエはガイドが話したとおり、進駐してきた連合軍の戦車に乗り故郷に帰った。

命を懸けて愛する妻と息子を護った男の感動のラブストーリー。ホロコーストさえコメディにしてしまいうイタリア映画の底力。

【解説】

■ポイント

●ロベルト・ベニーニ

- ・1952年イタリア北部、トスカーナ出身
- ・1997年：本作で監督、脚本、主演を務める

なお、本作でドーラ役のニコレッタ・ブラスキは実生活でも夫人（1991年～）

●受賞（1999年第71回アカデミー賞受賞）

主演男優賞、外国語映画賞

■見どころ

●家族愛

- ・ガイドとジョズエの親子愛と信頼感

この話自体は助かったジョズエが過去を回想するという形式をとっている。

- ・ガイドとドーラの夫婦愛

純粋イタリア人であるドーラがガイドとジョズエの身を案じて収容所に同行